

東北地理学会 2020 年度総会結果

2020 年 5 月 25 日学会 HP 掲載

2020 年 5 月 25~30 日 意見表明

2020 年 6 月 8 日

5 月 25 日に学会 HP に総会資料を公開したところ、30 日までに 36 名の会員より意思表示がありました。その結果、すべての議事は全会一致で承認されました。議事各号およびその他についてのご意見は下記の通りでした。コロナ禍においても研究活動・交流が滞ることないように体制を整え準備して、秋季大会に望む所存です。

東北地理学会会長 高野岳彦

東北地理学会幹事長 磯田 弦

記

(1) 2019 年度事業報告および会務報告 承認 100% (36 名)

【ご意見】なし

(2) 2019 年度収支決算および財産目録の報告 承認 100% (36 名)

【ご意見】なし

(3) 2020 年度事業計画案審議 承認 100% (36 名)

【ご意見】

- ・学会懇親会については不開催も含めて方式を検討すべきかと思えます。
- ・貴会の秋季大会の素早い公示に感嘆しています。
- ・「地理総合」に関するアウトリーチ事業ですが、ぜひ今年も継続し、若手の地理教員をぜひ育てたいと思えます。

(4) 2020 年度予算案審議 承認 100% (36 名)

【ご意見】

- ・アウトリーチ用の予算担保は妙案だと感じました。

(5) その他

【ご意見】

- ・貴会の更なる発展を祈念しております。お互いに頑張りましょう。
- ・今回のような迅速なご対応をしていただき、誠にありがとうございました。
- ・オンラインによる学会開催を何らかの形で実現できると遠隔地在住者にもメリットがある。セキュリティ面（不正アクセス等）や事前準備が大変と思われるが可能性を議論する必要がある。延期された今年の JpGU ではオンライン発表に iPoster という仕組みが使われるとのこと。
- ・学会からの研究情報発信において、手段・手法の多様化はさらに進めるべきであるが、その際、会員の自由な研究発表とアウトリーチとは異なる機能であり、一方で他方を代替することはできない

点に留意して、一般会員の潜在的要望に沿う方策をとることを要望する.

- 春季大会を中止したことの簡便な代替として、たとえば、会場を仙台に変更した今年度秋季大会に限り、1人の発表を（春季大会での発表を予定していた分を含めて）2件まで認めるというような措置を講じてもよいのではないか
- 秋季学会大会がオンライン開催され、春季学会大会で発表を希望していた方の発表機会が確保でき、発表要旨が大会要旨と共に記録されてウェブサイト上で公開できるとよいと思います。

以上